

非行の芽 早いうちにつみとろう 「早期発見」の手立て

子供は、ある日突然非行に走るのではありません。小さな風船がだんだんふくらんで、やがてパチーンとはじけるように、徐々に非行への道に深入りしていきます。この過程で、さまざまな非行への「きざし」が見られます。

子供の非行防止も、病気の発症と同じように「早期発見」が大切です。そのためには、ふだんから子供の生活を注意深く見守りながら、非行の「芽」を早いうちにつみとってしまうことが肝心です。子供のどういふ言動が非行につながるのか非行の「き

ざし」のいくつかをあけてみましょう。

ウソは非行化の赤信号

すぐわかるようなウソをついたり、親の顔をまともにみないで、あいまいな返事しかしない。ウソが露見しても平気な顔をするようになる。

成績が急激にダウン

得意な科目の成績まで目に見えて落ち、テストの結果も見せなくなる。

ぶらりと外出する

目的のある外出ではなくて「ちよつとそこまで」という外出がひんばんになる。

親の知らない友達が増える

「なんていう名前なの」と聞いても、「ケンちゃん、マー坊」と

いったあいまいな返事をするようになる。

服装や髪形をしきりに気にする

小遣いでは買えない高価なペンダントやブローチなどのアクセサリーをつけるようになる。

多額の小遣いを要求する

おかねの浪費がめだち、時には親のさいふから、こっそりぬきとったりするようになる。

夕食をあまり食べない

食べ盛りで、以前はいつも空腹を訴えていたのが、食べなくなる。学校の帰りに、スナックなどのたまり場に寄り道をしている場合が

多い。

読書の内容が変わる

ポルノ雑誌などをこっそり読んでいる。

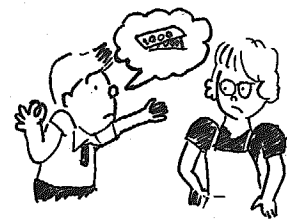
かくれてタバコを吸う

非行少年のほとんどが、最初の段階で喫煙する。ポケットなどにかくしていたり、ニオイがするから注意してみる。

なげやりな言葉遣いが多くなる

まじめな生き方を軽べつし「バカらしい」などとなげやりなことばを吐く。成績が悪いのも、親や教師のせいにするようになる。

14~16歳が全体の七割



七月一日から九日まで、年一回の総合検診です、忘れずに受けましょう。

ゴミはみんなのせい

不法投棄



*河川敷に捨てられたゴミの収集に当たる衛生委員。

梅雨時をまえに、河川敷や堤防などに多量のゴミが捨てられており、このため、環境を害し悪臭を放ち、病害虫の発生源になっていることから、町衛生委員会では人力、機械力を動員して、五月十九日、これらの個所の清掃を実施しました。

と初夏を思わす強い日差しのもと、一生けん命、汗いっぱいになり不法投棄されたゴミの処分にあたってました。皆さんの住んでいる地域は、皆さんの力できれいな町、清潔な地域にするよう、自治会ぐるみで不法投棄一掃運動を展開して下さい。なお、粗大ゴミ、燃えないゴミ、燃えるゴミの区分をはっきりし、決められた日、決められた時間にそれぞれのゴミ集積所に出されるようお願いします。

言葉遣いのいろいろう

誤用の多い敬語の一つに「参る」があります。

「行く」「来る」の謙讓語（へりくだった言葉）として「私もあとから参ります」「課長が参りますまで、しばらくお待ちください」（来客に対して）のように使うほか、改まった言い方として、「雨が降ってまいりました」「暑くなつてまいりましたね」などと使うのは正しい用法です。

しかし、「先生、当地へはいつ参りましたか」のように相手に使えば失礼になります。また、「当地へはいつ参られましたか」と尊敬語の「れる」を付けて「参られる」としても、謙讓語との混合になって、やはり不自然です。この場合は、「いつおいでになりましたか」「いつ来られましたか」などと言うべきところでしょう。

また、近ごろでは、「お待ちください」と言うかわりに、「お待ちちしてください」と言ったり「お書きになってください」のつもりで、「お書きしてください」と言う人が増えているようです。

これらは「お待ち」になる」という尊敬語の型と「お（待ち）する」という謙讓語の型を混同しているのでしよう。謙讓語を尊敬語として使わないように注意することが大切です。

子供達に積極性を！ ひっこみ思案

根気よく意欲を引き出す

人前で何かするのをいやがったり、大勢の中に入ると、自分らしさをだせなくなってしまう子供がいます。このような子供は、他人の目を気にしていながらも相手の気持ちにくみとれず、そのために

相手から理解してもらえないばかりか、自分も相手を理解できないままです。ひっこみ思案になつてしまう傾向があるようです。この結果、他人との接触がなくなり、友だちもできにくくなった

りする場合があります。このように、ひっこみ思案の子供は、消極的になりがちです。しかし、子供は友だちとの交流を通して、あるいは大人の言動などによって、人とのつき合いや社会習慣・規則などを身につけていきます。ですから、新しい経験に対して消極的であるということは、「心の成長」ばかりでなく「社会性」をはぐくむ上でも、マイナスに作用することがありますから、気をつけたいものです。

ひっこみ思案は、本人の性格であ